

ST250クラス Ninja250吸入口について

平素より岡山国際サーキットで開催のST250クラスにご参加頂き誠にありがとうございます。さて、2年目を迎えておりますST250クラスですが、Ninja250のエア吸入口に関してお問い合わせが多いためMFJに確認を致しましたので、下記の通りご案内させていただきます。安全な車両でレースが出来るよう、ご理解ご協力をお願いいたします。

記

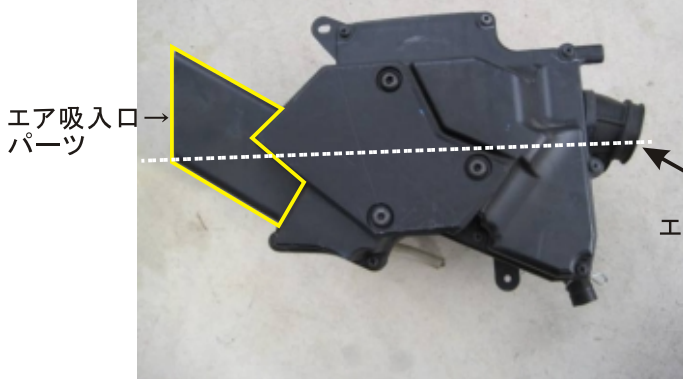
【ST250クラス Ninja250エア吸入口について】

MFJ国内競技規則 ST250技術規則7-3-27(P175)ではエアクリーナー本体の改造がなければ吸入口の改造変更が可能となっております。しかしながら、Ninja250の場合は下記の通り吸入ダクト下限がエアファンネルより低いため、取り外した場合クローズドブリーザー(P167)の保持が出来なくなります。同様にサイドパネルを外した場合も吸入口がファンネルより低くなるため取り外しは認められません。

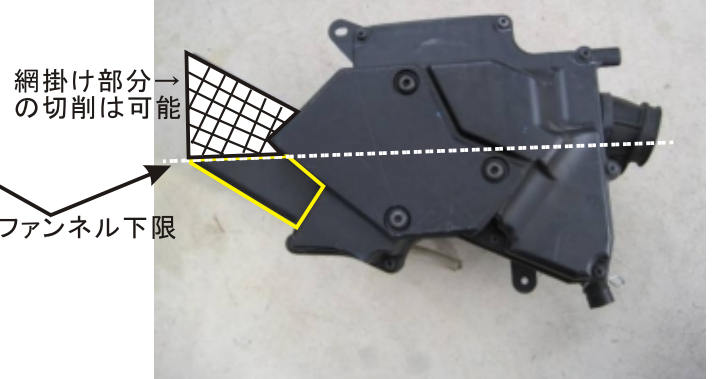
尚、下段図2に示すように、エアクリーナー本体を改造することなく、吸入口のみを改造することは可能です。ただしこの場合も、エアファンネル下限より吸入口が下にならないよう注意して加工してください。

また、吸入口を作り替える場合もエアファンネル下限と吸入口の位置関係に注意して作成し、液体が漏れる事の無いよう、確実に密着、固定してください。

【図1】



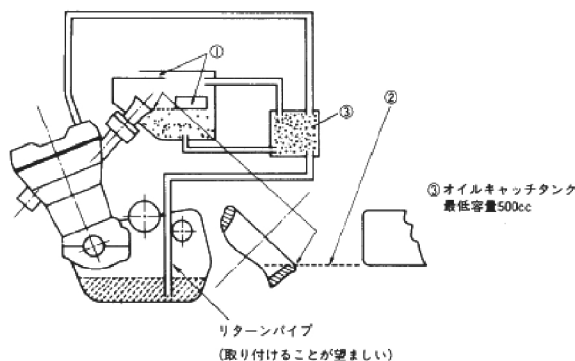
【図2】



MFJ ST250技術仕様

- 7-2-4-1 すべての車両はクローズドブリーザーシステムになっていなければならない。すなわちオイルブリーザーラインはオイルキャッチタンク、およびエアクリーナーボックスに連結され、これに排出する構造となっていること。

4ストロークエンジンのブリーザーシステム



①+②

エア吸入口は、エアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも上に位置すること。吸入口がこれよりも下にある場合は吸入口に至る吸入通路の底面が少なくとも一部分、水平線の上に位置すること。

①+③

ブリーザーシステム（エアクリーナーボックスおよびその他のオイルタンク）は、ドレンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。